

## 群馬県内におけるローカル 5G の活用動向

群馬経済研究所 研究員 稲田純也

### 調査のポイント

企業や自治体などが個別に構築できる通信ネットワークである「ローカル 5G」。その概要を説明し、行政による普及に向けた取り組みや、県内における活用事例、導入の課題を整理した。

### 要約

- 5G とは、第 5 世代移動通信システムの略称であり、「低遅延」、「超高速・大容量」、「多数同時接続」を実現した最新の無線通信規格である。このなかで、ローカル 5G とは、通信事業者が全国に提供する 5G ネットワーク（キャリア 5G）とは別に、企業や自治体などが個別に構築できる 5G ネットワークである。
- キャリア 5G と比べて、ローカル 5G には「用途に応じて柔軟にネットワークを構築できる」、「他所の通信障害や災害などの影響を受けにくく、通信安定性が高い」、「情報漏洩のリスクを軽減できる」といったメリットがある。ローカル 5G の活用により、産業分野での課題解決や新たなサービスの創出につながる。
- 県内におけるローカル 5G の活用事例としては、製造分野での「外観検査の自動化」、交通分野での「遠隔監視による自動運転バスの運行」、医療分野での「ロボットによる薬剤鑑別」が挙げられる。
- 上記の活用事例のように、県内でもローカル 5G の活用が始まっている。しかし、ローカル 5G の導入にあたっては、コストや手間がかかることから、一部の企業や自治体などでの活用に留まっている。近年では、コストや手間の削減に向けた動きがみられるため、中小企業での活用も進み、県内産業のさらなる活性化につながることを期待される。